

現場演習・実地研修 評価表：胃ろう又は腸ろうによる経管栄養（滴下）

研修 受講者氏名		※各対象者の個別性に適合させるよう、適宜変更・修正してご使用ください。	A
対象者氏名			

本票ページ数	/
--------	---

実施 手順	評 価 項 目		記入例	現場演習	実 地 研 修			
	回 数		(1)回目	()回目	(1)回目	(2)回目	(3)回目	(4)回目
	月 日		1月12日	/	/	/	/	/
	時 間		15:00～15:30					
STEP4 準備	1	流水と石けんで手洗い、あるいは速乾性擦式手指消毒剤で手洗いをする。	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ
	2	医師・訪問看護の指示を確認する。	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ
	3	利用者本人あるいは家族に体調を聞く。	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ
STEP5 実施	4	利用者本人から注入の依頼を受ける。あるいは、利用者の意思を確認する。	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ
	5	必要物品、栄養剤を用意する。	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ
	6	体位を調整する。	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ
	7	注入内容を確認し、クレンメを止めてから栄養剤を注入容器に入れ、注入容器を高いところにかける。 滴下筒に半分位満たし滴下が確認できるようにする。	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ
	8	クレンメをゆるめ、栄養剤を経管栄養セットのラインの先端まで流し、空気を抜く。	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ
	9	胃ろうチューブの破損や抜けがないか、固定の位置を観察する。	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ
	10	胃ろうに経管栄養セットをつなぐ。	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ
	11	クレンメをゆっくり緩めて滴下する。	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ
	12	異常がないか、確認する。	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ
	13	滴下が終了したらクレンメを閉じ、経管栄養セットのラインをはずし、カテーテルチップ型シリンジで胃ろうチューブに白湯を流す。	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ
	14	体位を整える	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ
STEP6 結果確認 報告	15	後片付けを行う。	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ
STEP7 記録 報告	16	実施記録を書く。 ヒヤリ・ハットがあれば、業務の後に記録する。	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ	ア・イ・ウ
アの個数 計			16					
評価者(指導看護師)サイン			大阪					

* 自由記載欄

()回目	
()回目	
()回目	
()回目	

※【現場演習】は全項目が『ア』になるまで、一連の流れを確認してください

※【実地研修】は2回連続で、全項目が「ア」にならないと修了となりませんので、ご注意ください。